



さいじょう

2010.8.1発行  
第23号

# 市議会だより

発行/西条市議会 編集/市議会だより編集委員会 〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164 ☎(0897) 52-1261



加茂川河口での自然観察会

## 暑中お見舞い申し上げます

酷暑の折柄、市民の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

平成22年 盛夏

西条市議会議員一同

### 5月臨時会

正副議長選挙・各常任委員会委員の選任等、新たな議会構成を決定!

### 6月定例会

平成22年度補正予算(総額23億7,641万4千円)を可決!

#### ◇目 次◇

|               |       |                 |     |
|---------------|-------|-----------------|-----|
| 新しい議会構成……………  | 2～3 P | 請願審査結果……………     | 7 P |
| 予算・条例等に対する質疑… | 3～4 P | 6月定例会審査結果・編集後記等 |     |
| 一般質問……………     | 5～7 P | ……………           | 8 P |

市議会を知るよい機会です。あなたも本会議を傍聴してみませんか!

議会の日程等、詳細については、議会事務局へお尋ねください。市議会では、本会議を記録した会議録を議会事務局、各図書館、各公民館に配備するほか、議会のホームページで公開しています!

(URL) <http://www.city.saijo.ehime.jp/gikai/>

#### 6月定例会の会期日程

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 1日      | 本会議(提案説明)                     |
| 2日～6日   | 休会                            |
| 7日      | 本会議(質疑・一般質問)                  |
| 8日      | 本会議(一般質問)                     |
| 9日      | 休会                            |
| 10日     | 総務委員会・福祉文教委員会                 |
| 11日     | 産業建設委員会                       |
| 12日～14日 | 休会                            |
| 15日     | 臨海地域振興整備特別委員会<br>新庁舎問題調査特別委員会 |
| 16日～17日 | 休会                            |
| 18日     | 議会運営委員会<br>本会議(討論・表決)         |

# 5月臨時会

5月11日に開会された平成22年第4回5月臨時会において、正副議長の選挙、常任委員会及び議会運営委員会委員の選任、特別委員会委員の補欠選任など、新しい議会の組織構成に関する議事が行われました。

議長 近藤達也氏  
副議長 一色輝雄氏  
を選出



議長 近藤達也



副議長 一色輝雄

## 正副議長就任あいさつ

市民の皆様には、市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
私どもは、先の5月臨時会において、名誉ある西条市議会議長並びに副議長に就任いたしました。  
依然として厳しい地方の行財政状況の中、当市におきましては、工業用水分水問題、東予港湾整備や地域医療等々、喫緊の課題をかかえているところであります。  
かかる重要な時期に、このような大役をおおせつかりましたことは、たいへん光栄であると同時に、その職務の重大さに、身の引き締まる思いがいたします。  
市民の皆様のお力を結集し、「人がつどい まちが輝く 快適環境実感都市」の実現に向けて、最善の努力を傾注して参る所存であります。今後とも、よりいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 新しくなった議会構成

## 総務委員会

●総務部、財務企画部、消防、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項の調査・審査を行います。

委員長 安藤 雅康  
副委員長 行元 博  
委員 高橋 章哲  
岡村 重治  
坪井 剛  
堀江 幸二  
青野 貴司  
青野 久美  
徳増雅一  
一色 伸二



## 福祉文教委員会

●保健福祉部、生活環境部、教育委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。

委員長 大澤 忠正  
副委員長 西坂 壽  
委員 山地美知一  
伊藤 新平  
近藤 達也  
持主眞知子  
日和佐 直  
黒河紘一郎  
藤田 節雄  
伊藤 孝司



## 産業建設委員会

●産業経済部、農林水産部、建設部、農業委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。

委員長 児玉 千春  
副委員長 斎藤 宣昭  
委員 越智 啓郎  
塩出 崇  
西坂 信  
越智 絹恵  
森 達正  
一色 輝雄  
楠 學  
莖田 元近



## 議会運営委員会

●議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項や議長の諮問に関する事項及び議会広報に関する事項について、調査・審査を行います。

委員長 楠 學  
副委員長 堀江 幸二  
委員 児玉 千春  
西坂 信  
持主眞知子  
黒河紘一郎  
徳増雅一  
一色 伸二  
伊藤 孝司  
莖田 元近





## 各特別委員会の選任

第4回5月臨時会において、特別委員会委員の辞任により各委員会委員の補欠選任が行われました。

新たに互選された正副委員長及び補欠選任された委員は次のとおりです。

## 臨海地域振興整備特別委員会

委員長 楠 學(互選)

副委員長 行元 博(互選)

委員 大澤 忠正(選任)

## 水資源調査特別委員会

委員 行元 博(選任)

## 新庁舎建設問題調査特別委員会

委員 楠 學(選任)



## 6月定例会

第5回6月定例会では、各会計補正予算案4件、条例案その他の議案6件、報告案件3件の審議を行いました。

また、最終日には人権擁護委員候補者の推薦の件2件が提出され、いずれも異議ないものとなりました。

本会議では、議案質疑に5名、一般質問に11名が登壇し、議案や市政全般にわたり議論を交わしました。

## 議案質疑

## 議案第43号

## 一般会計補正予算(第2回)

どうなる？

## 将来の道路網整備

(自民クラブ)

## 問

道路整備は、産業経済の発展や市民生活に非常に大切なものであるが、合併前に各市町で決めた都市計画道路やその他の道路計画は、現状の交通体系には合わないものがある。市内全体の見直し計画において、現在の都市計画道路の整

備状況と市全体の道路網の見直しについて問う。

## 答

市内の都市計画道路は、自動車専用道路1路線、幹線街路26路線が都市計画決定されている。平成22年3月末現在で、計画延長約100キロメートルのうち改良済み延長は、約47キロメートルで、改良率は46.8パーセントである。

現在の都市計画道路は、人口の増加、都市の高度成長を前提として整備したものが多く、急激な社会情勢の変化を勘案した場合、本市の目指すまちづくりの将来像と必ずしも一致しない状況や、交通量の変化が著しい路線も見受けられ、市域全体の道路網の見直しを行う必要があると考えている。

見直しの過程については、各路線の種別、整理状況などから見直し対象路線を抽出し、将来の交通量を推計するとともに、交通機能及びネットワーク機能の観点、まちづくりの観点から対象路線の必要性や、将来の交通計画に支障がないかを検証する。

また、見直し素案作成後は、関係機関や学識経験者から意見

を聴取するとともに、地域住民に見直し案を公表した上で合意形成を図り、都市計画変更手続を行うこととなる。

## どう取り組む！

## 安全・安心な道路整備

(市民クラブ)

## 問

今回の補正で、大町地区安全確保を図るための安心安全歩行対策事業費1千800万円が計上されているが、事業の目的、工事概要、効果を問う。

## 答

この事業は、歩行者の安全確保を図ることを目的として、自治会や小学校など各種団体からの要望を受け、交通量などの現場状況を確認した上で危険交差点であると判断した所について整備するものである。

平成22年度は、大町地区あんしん歩行エリア内の通学路の路肩カラー舗装化や、市内26か所の交差点のカラー舗装化及び自発光式交差点鎮を設置するものである。

過去に、神拝地区で同様の事業を実施しており、整備効果を



安全・安心な通学路へ

把握するため、市内4小学校(西条・神拝・大町・玉津)の保護者2千75人を対象にアンケート調査を実施している。回答があった1千542人のうち、約73パーセントとなる1千120人の保護者からは、自校区でもこの取組を希望するとの回答があり、本事業の必要性は高いものと認識している。

また、アンケート調査では、路肩のカラー舗装化で歩行者・ドライバー双方ともに安全意識が高まるとの意見も寄せられており、この取組がドライバーへの注意喚起の役目を果たし、速度抑制や危険意識の向上に効果があるものと考えている。



開発を待つ駅西地区

必要性はあるのか？

## JR壬生川駅周辺整備

(日本共産党西条市議団)

### 問

市は、JR壬生川駅西地区を中心に、約25億円を投入する都市基盤整備事業を行うことを明らかにし、平成21年度一般会計補正予算に6億4千万円を計上、今定例会で約4億4千万円を計上している。市民からは、建物取り壊し補償費6千万円まで支払って、なぜこの地に広場が必要なのかとの声が高まっているが、この事業は見直すべきではないのか。

### 答

壬生川地区まちづくり基盤整備事業については、

平成21年度に、歩道整備、道路の用地費・設計委託費などへ予算を組んでおり、今定例会では、駅西広場及び自由通路の設計費、用地費や補償費などの予算を計上している。

駅西広場の必要性については、平成21年3月策定の都市計画マスタープランにおいて壬生川駅周辺の再整備を図ることとしており、新たな拠点整備を行い、駅西と駅東の両地区を結ぶ回遊性の創造によるにぎわいの再生を大きな目標としており、本市に必要な事業と考えている。

### 交通弱者への配慮は？

#### 道路網整備計画事業

(無党派)

### 問

幹線道路への交通量の集中とともに、いわゆる抜け道を通る車が目立っている。この事業は、歩行者(特に交通弱者)への配慮を伴った計画となっているのか。

### 答

平成18年に東予有料道路が無料化され、市内へ流



渋滞する市内幹線道路

入する交通量が大幅に増加している。流入交通量が増加することで、幹線道路の渋滞が悪化し、それを回避しようとする車両が市道などの生活道路へ流入してくるのが現状である。

こういった状況を解消するため、長期的には道路網が計画整備されることが必要と認識している。

中期的な対策として、通学時の安全性を確保するため、交差点改良や歩道整備を行っている。短期的な対策としては、路肩や交差点内のカラー舗装化を行い、視覚的に歩行者と自動車を分離する取組を行っている。

また、一般国道においても児童・生徒の通学路を中心に、国土交通省の直轄事業として歩道整備が進められている。今回の見直しは、都市計画道

路を含めた市全体の道路網について、社会の潮流を適切に認識し、交通の流れに見合った見直しを行い、道路網整備計画を策定することとしており、整備計画に沿った道路整備の推進は、利用者に安全・快適を提供でき、抜け道を利用するドライバーの減少につながるものと考えている。

## 一般質問

### どうなるの？

#### 子ども手当の支給

(自民クラブ)

### 問

子育てを社会全体で支援する制度として子ども手当が創設され、平成22年6月から支給が開始されるが、本市の支給対象者数、支給総額はいくらか。

また、給食費や保育料未納者については、手当から未納分を天引きして支給するのか。

### 答

子ども手当の支給対象世帯数は、約9千150世帯、子どもの数は、約1万4千980人を見込んでいる。平成22年度の



元氣いっぱい！

支給は4月から翌年1月までの10か月分となり、総額は、約19億5千万円となる見込みである。また、支給方法は原則として口座振替であるが、一部保育料未納者については、窓口での現金支給を行う予定であり、子ども手当の現況届提出時に納付を促すとともに、現金支給時納付など、納付方法について未納者と相談を行っている。

給食費未納者については、子ども手当の支給にあわせ、給食費と子ども手当の口座を同一にするなど未納給食費の納付を促す予定である。

なお、国においては、滞納された給食費などを子ども手当から天引きするしくみを平成23年度以降の制度設計で再検討すると聞いている。



## 集団接種への取組は？ 子宮頸がん予防ワクチン

（自民クラブ）

### 問

子宮頸がんは、ワクチン接種により予防できる唯一のガンである。ワクチンは、皮下注射による3回の接種で5万円程度の費用がかかり、高額である上、保険診療でないため全額自己負担となる。公的な助成なくして接種率向上につながりにくい現状である。

より効果を上げるための公費助成とともに、集団接種の実施への取組について問う。

### 答

厚生労働省では、現在肺炎球菌やインフルエンザ菌、B型ワクチンなど他の任意



予防パンフレット

の予防接種と併せて、予防接種法による定期接種への位置付けを含め、実施体制などを検討している。

本市の今後の対応については、国の動向も注視しながら検討していくこととしており、特に子宮頸がんワクチンの予防接種については、少子化対策及びがん予防対策の観点から重要な問題と認識し、健康対策及び女性特有のがん対策全体での整合性も考慮しながら、各関係機関の意見を聞き検討していきたい。

また、接種方法についても、公費助成のあり方と並行して、接種率の確保を念頭に置き、各関係機関と協議しながら検討していきたい。

## どう防ぐ？

### 家畜伝染病口蹄疫

（自民クラブ）

### 問

口蹄疫は国際的に最重要家畜伝染病として、国策によりその制圧と感染拡大防止に努めているが、現在の市の取組内容及び今後の具体的な対応策について問う。

### 答

本市の家畜飼養頭数は、県内第2位であり、万一、口蹄疫が侵入してきた場合、市内外に与える影響は甚大であると認識をしている。

こうした状況から、発生報道以降、県内でも畜産団体や関係者に対し、発生状況や衛生対策の強化を周知するとともに、畜産農家への緊急調査、港での九州から上陸する車両の消毒、畜産関係者の九州との交流自粛、消石灰の配布など、本県への疾病の侵入を防止する水際対策に懸命に取り組んでいるところである。

また、口蹄疫発生後は宮崎県から牛の導入を中止しているが、3月以降の導入牛は市内では6戸、17頭あり、これらについて家畜防疫員が立入検査を行った。その他の家畜についても聞き取りによる緊急調査を行い、現在のところ全頭に異常はないと確認されている。

しかしながら、宮崎県での口蹄疫の発生が依然として鎮静化を見ない状況から、関係農家の不安も増大しているため、県に相談窓口が設置され、市としても県組織との連携により畜農家及び市民の不安解消、風評被害

の防止に努めていくこととしている。

また、これを契機として、口蹄疫のみならず、その他の家畜伝染病についても、今まで以上に関係機関との連携を深め、日常的な衛生管理や防疫意識の啓発に努めていきたい。

## どう充実するのか？

### ファミリー・サポート事業

（リベラル西条）

### 問

開始4年目を迎える本事業の、現状の利用状況と利用者拡大に向けた取組を問う。



サポート会員のレベルアップを目指して

さらには、特別支援学級などへ通う児童への対応をどのように考えているのかを含めて、今後、どういった取組をしていくのか。

### 答

利用状況については、平成19年度は会員数146名で延べ活動件数196件、平成20年度は会員数195名で延べ活動件数1千123件、平成21年度は会員数214名で延べ活動件数1千76件であり、会員数及び活動件数は横ばいの状況である。

現在の利用者拡大に向けた取組としては、まず援助する側である提供会員の拡大を図るため、年2回の初級講習会を実施しており、また、既に登録している会員を対象に、レベルアップ講習会や会員同士の交流会を実施している。

今後の取組としては、依頼会員拡大のため、市報や市のホームページなどを活用した広報活動に努めるとともに、提供会員の資質向上を図るため、必要な講習会などを実施することにより、発達障害を含む障害児や病児の利用など、依頼会員の多様化するニーズに対応できるよう努力していきたい。

## 観光の現状と

## 観光振興策は？



西日本最高峰 石鎚山

## 答

平成21年に市内に訪れた観光客数は約396万人で過去5年間ほぼ横ばい状態にある。

市内には魅力的な観光資源が多く存在し、それぞれに観光客が訪れているものの、他の観光地を訪れる途中で立ち寄る通過型の観光客が多いと認識しており、観光客の滞在時間をいかにして延ばすかが課題である。

そのためには、市内を巡る周遊ルートの創出が有効な手段の一つと考えており、アクアトピアを中心とした、うちぬきや史跡をめぐる水めぐりルート、石鎚山系をめぐるエコツアールートを設定し、観光協会や石鎚ふれあいの里でツアーが実施されている。

今後は、これらのルートや既存の観光施設を活用し、豊かな自然、史跡、産業施設、観光農園などのネットワーク化を図るとともに、テーマ性のある新しい周遊ルートの創出に努め、観光客の滞在時間の増大に向けた取組を図っていきたい。

## 問

市内には西日本最高峰の石鎚山、うちぬき、夏・秋祭り、ぼたんやふじの名所、四国八十八か所の札所をはじめとする多くの由緒あるお寺や神社、工場見学のできる事業所や、他にも多くの観光資源がある。しかしながら、観光産業としてはまだまだ発展の余地があると思うが、西条市の観光の現状と観光振興策について問う。



## 郷土の歴史を伝承

## 天正の陣

(市民クラブ)

## 問

天正の陣は、今から425年前の一五八五年(天正13年)全国統一を目指す豊臣秀吉

の命を受けた毛利軍の小早川隆景の率いる3万の軍勢が、地元勢力を圧倒的な戦力で制圧した戦いである。

この天正の陣について、郷土の歴史として伝承し、その史跡や文化財を保存していくことについて、どのように考えているのか。

## 答

天正の陣は、本市においては大規模で歴史的な戦いであつたと認識している。天正の陣に関する伝承についての市の取組は、公民館主催の事業の中で、郷土史会会員を講師とした関係史跡めぐりや、考古歴史館で天正の陣の企画展を開催している。

また、今年9月には本市郷土博物館で行う郷土史講座でも天正の陣を題材として取り上げる予定としており、今後も、これらの取組を充実させていきたい。



高尾城跡

また、天正の陣に関する史跡に関しては、氷見地区において山城である高尾城跡などもあり、今後は、地域の皆さんや郷土史家などの意見を聞きながら説明板の設置や史跡の整備などについて検討していきたい。

## どう取り組む？

## 自殺予防対策とうつ病対策

(公明党西条市議団)

## 問

12年連続で年間自殺者が3万人を超えている状況において、本市における自殺予防・防止への環境づくり、相談窓口体制の強化及び予防への普及啓発の取組を問う。

また、自殺原因の要因とされるうつ病対策の取組を問う。

## 答

現在、本市では、本人や家族が気軽に相談できるよう、各保健センターに相談窓口を設置し、西条保健所とも連携をとりながら対応をしている。今後は、地域の中でより連携を深めていけるよう、民生委員や健康づくり推進委員などを中心とした体制づくりも検討していく必要があると考えている。

さらに、県が作成した相談窓口紹介冊子を市民に配布しているほか、今後は各種団体を対象とした講習会の実施により、予防へのさらなる普及啓発に取り組んでいきたい。

支援員などの養成については、これまで各地区の健康づくり推進員活動の中で、相談員の養成を図ってきたところであるが、より専門的な支援を目指し、医師、保健師、看護師、介護職員などを対象として人材育成を図っていきたい。

また、うつ病対策として、現時点で保健所と連携した窓口で相談事業を中心に行っているが、症状が表面化しない潜在的な患者も相当数存在すると言われているので、検診や相談などの機会をとらえ、うつ病の早期発見、早期対応に努めていきたい。



## 技術をどう生かす？ いちごの周年栽培

(日本共産党西条市議員)

### 問

MH冷水製造システムを使ったいちごの周年栽培は、食品加工流通コンビナート構想との関係で、どのような位置付けなのか。また、一般の農家は、この技術の恩恵を受けることができるのか。

### 答

※ MH冷水製造システムは、地域資源を生かした技術をきっかけに農業・工業・



いちごの周年栽培実験

注・MHとは水素吸蔵合金(Metal Hydride)の略

商業が融合した6次産業化を図る「食品加工流通コンビナート構想」の核となる技術として位置付けており、現在、このシステムを利用したいちごの周年栽培の技術確立に向けた取組を行うほか、現状の収穫時期より早期に収穫できる苗の開発も行っている。

これらが実現されれば、農家の取得向上にもつながるものと考えており、今後、実用化実証研究の中で農家が取組やすいシステムの検討を進めていきたい。また、MH冷水製造システムは、いちご以外の作物栽培への応用も可能であると考えており、いちご農家という限定なとらえ方ではなく、一次産業全般の今後の目指すべき方向性を見すえた中で必要な取組であると認識している。

## どう取り組む？

### 市独自の学力向上策

(無会派)

### 問

文部科学省の「全国学力・学習状況調査」は、実施効果の面などで疑問視する声もあるが、本市では、今後引き



授業に集中する子どもたち

続いてこの調査を実施していくのか。

また、全国的に学力の低下が認められている事実があるが、このような状況の中で、市独自の学力向上策を考え、推進していくことが不可欠であると思うかどうか。

### 答

平成22年度全国学力・学習状況調査は、市内の全小中学校で実施した。本調査の結果は、児童・生徒の学力の状況だけでなく、学習状況と学力との関係関係もデータとして得ることができ、学習状況面での課題を明確にするのに有用であると考えている。次年度以降の実施については、当該年度の調査結果の検証と併せて検討していきたい。

いきたい。

また、全国的な学力低下傾向に対する市独自の学力向上策については、現在、全国学力・学習状況調査などの結果を基に自校の課題を明らかにし、重点改善に資する指導内容や目標を設定し、その実践・評価を行い、さらに見直しを図るというサイクルで取り組んでいる。

さらに、教科などの研修会や授業改善を担う主任職研修を充実することで、指導力の向上をよりいっそう図っていきたい。

\*\*\*\*\*

## 愛媛県後期高齢者医療 広域連合議員の選挙

欠員となっていた、愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が行われ、副市長の

藤田 義規氏

が当選されました。

## 人権擁護委員

### 候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、

桑村 啓子氏

秋山 節子氏

の両氏の推薦に異議ないものとしました。

## 請願

6月定例会における請願の審議状況は次のとおりです。

### 【継続審査】

- ・労働者派遣法の早期抜本改正のため、意見書の提出を求める請願
- ・食の安全・安心と食料自給率向上、農業の再生を求める請願

- ・最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める請願
- ・子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額公費助成等を求める請願

### 請願とは

市民の皆さんが、国や地方公共団体に対して、それらが所管する事項に関して、一定の措置を取ることや、取り消しをすることなどを希望し、申し出ることをいいます。

請願書を提出したい場合は、議会事務局までお申し出てください。

平成22年度

愛媛県市議会議長会  
春季定期総会開催

4月7日、愛媛県下11市の議長・副議長・議会事務局長33名が市内のホテルに会し、平成22年度愛媛県市議会議長会春季定期総会が開催されました。

会議では、県下各市から提出のあった、それぞれの地域における重要課題11件が審議され、東・中・南予地区から各1題が、四国市議会議長会へ送られ審議されることとなりました。



愛媛県市議会議長会

来訪  
西条

3月定例会閉会以降、行政視察のため、西条市を訪問した市・町議会と視察項目は、次のとおりです。

◇5月13日

三重県菰野町議会

◇5月18日

岐阜県美濃加茂市議会

・学校給食における地産地消について

◇5月20日

滋賀県長浜市議会

## 6月定例会における議案の審議結果

| 議案番号   | 議 案 名                                              | 結 果  |
|--------|----------------------------------------------------|------|
| 議案第43号 | 一般会計補正予算(第2回)について                                  | 原案可決 |
| 議案第44号 | 国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について                            | 〃    |
| 議案第45号 | 公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)について                           | 〃    |
| 議案第46号 | 水道事業会計補正予算(第1号)について                                | 〃    |
| 議案第47号 | 財産の取得について                                          | 〃    |
| 議案第48号 | 公有水面の埋立てについて                                       | 〃    |
| 議案第49号 | 職員の育児休業等に関する条例及び西条市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について | 〃    |
| 議案第50号 | 税条例の一部を改正する条例について                                  | 〃    |
| 議案第51号 | 国民健康保険税条例の一部を改正する条例について                            | 〃    |
| 議案第52号 | 火災予防条例の一部を改正する条例について                               | 〃    |
| 報告第2号  | 平成21年度繰越明許費繰越計算書について                               | 報告聴取 |
| 報告第3号  | 株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について                          | 〃    |
| 報告第4号  | 土地開発公社の経営状況について                                    | 〃    |

議会一ロメテ  
臨時会について

定例会は、毎年条例で定める回数(西条市では年間4回)の招集が予定されていますが、突発的な事情などにより、特定の事件に限って審議するために、次回の定例会を待つことができない必要が生じた場合に、随時臨時会が招集されます。

定例会とは異なり、必要があれば回数に制限なく招集することが出来ます。

臨時会の招集は、首長が自らの判断で招集を行うほか、議会運営委員会の議決を経て、会議に付すべき事件を示して議長が請求するか、議員定数の4分の1以上の議員から、会議に付すべき事件を示して臨時会の招集請求があった場合は、首長は臨時会を招集しなければなりません。

◇6月24日

愛媛県今治市議会

・西条図書館について

・行政改革について  
・次世代育成支援行動計画について

## 編集後記

本号から新しい編集委員会による編集となりました。

委員一同、意を新たに市民に親しまれる市議会だよりを心がけ、編集に努めていきます。

今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

ご意見、ご感想をお待ちしております。



## 市議会だより編集委員会

委員長 楠 學

副委員長 堀江 幸二

委員 児玉 千春

委員 西坂 信

委員 持主眞知子

委員 黒河紘一郎

委員 徳増稚養一

委員 一色 伸二

委員 伊藤 孝司

委員 莖田 元近

## 【あて先】

西条市明屋敷164番地

西条市議会事務局内

TEL 0897-52-1261